

## 技術評価報告書の構成（案）

はじめに

産業構造審議会評価ワーキンググループ委員名簿

評価検討会委員名簿

技術評価に係る省内関係者

審議経過

## 第1章 事業の概要

1. 本事業の政策的位置付け/背景
2. 国が実施することの必要性
3. 各テーマの研究開発の内容
  - A. AI を活用した自動車の完成検査の精緻化・合理化に係る調査
    - A-1. 研究開発の内容
    - A-2. 研究開発の実施・マネジメント体制等
    - A-3. 事業アウトプット
    - A-4. 事業アウトカム
    - A-5. 事業アウトカム達成に至るまでのロードマップ
    - A-6. 費用対効果
  - B. 無人自動運転車における運行時に取得するデータの活用と安全性評価のための基礎システムの技術開発
  - C. プロ投資家対応・金融商品販売における高齢顧客対応に係る調査
  - D. マネー・ローンダリング対策に係わるシステム開発
  - E. ドローン等を活用した建築物の外壁の定期調査に係る技術開発
  - F. 高精度センサーを用いたエレベーターの定期検査に係る調査

以下同様

## 第2章 評価

1. 国が実施することの必要性
2. 研究開発内容及び事業アウトプットの妥当性
3. 研究開発の実施・マネジメント体制等の妥当性
4. 事業アウトカムの妥当性
5. 事業アウトカム達成に至るまでのロードマップの妥当性
6. 費用対効果の妥当性
7. 総合評価
8. 今後の研究開発の方向等に関する提言

## 第3章 評点法による評点結果

## 第4章 評価ワーキンググループの所見



### 「第3章 評点法による評点結果」の取りまとめ方

- 各委員の評点は匿名にして掲載する。
- 各委員の評点を、A=3, B=2, C=1, D=0点に換算し、平均値を算出。
- 評点は評価コメントを補完する資料とし、評価の全体的な傾向を把握することを目的とする。

(評点の取りまとめ例)

